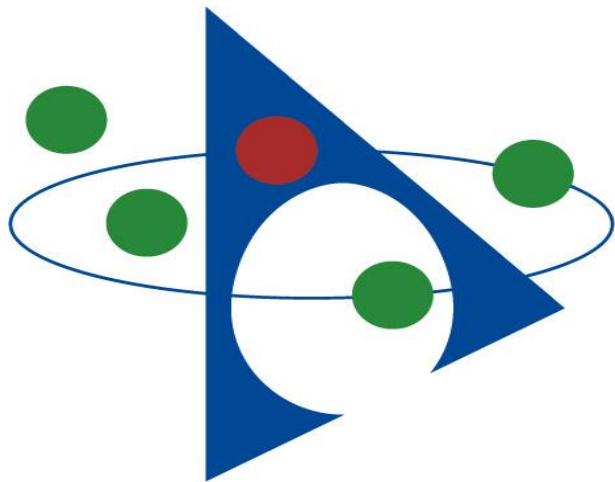




HONJO WASEDA
RESEARCH PARK

本庄早稲田・リサーチパークニュース

～2014年度事業～

2014年4月～2015年3月

「本庄早稲田オープンイノベーションネットワーク」 (研究会) 発足会 6月17日 75社・団体 117名参加

4つの研究部会



次世代地域・モビリティ研究部会

次世代モビリティに関する先進的な研究開発を進めるとともに、地域振興の基盤となる中堅・中小企業の発展支援



環境・エリアマネジメント研究部会

自然エネルギーを有効活用したインフラ整備から、市民のライフスタイルを組み合わせた地方版スマートシティのモデル構築の推進



食と農研究部会

地域の特色を活かし、本庄地域を中心として、食の安全、農業の高度化や6次産業化などをテーマにした地域活性化



くらしと健康研究部会

超高齢化社会の到来を見据え、高齢者支援、介護支援などに係る様々な支援サービスの仕組み等の研究開発支援。当面は他の3研究部会とともに活動

- 会員は各部会への自由な参加が可能
- 研究者との連携や会員同士の交流が図れる。部会間の連携を強化。より複雑化する課題を解決

本庄早稲田オープンイノベーションネットワークの発足会では、財団より設立経緯説明、各研究部会長より次世代地域・モビリティ、環境エリアマネジメント、食と農についての活動内容についての報告をしました。

参加者の皆様のご期待に応えられるよう早稲田大学等と連携して会員の輪を拡大していきたいと思ひます。



各研究部会の活動

1. 次世代地域・モビリティ研究部会

▶ 1. 会員企業訪問

2014年度も会員訪問（延べ51回）を重視し、会員との意見を重ねました。

これまで3年間にわたり、会員訪問を重ねているため、会員との意思疎通も円滑になり、要望や課題を性格に把握できるようになりました。

▶ 2. 研究部会セミナー

サポインの事業提案及び事業管理、NEDO新エネルギー革新事業の推進支援、国の25年度補正予算に伴う支援事業の申請など、公的支援の活用を支援しました。

また、会員訪問や関係機関との協力関係を基礎に販路開拓、展示会への出店、技術相談、出前セミナーなど会員の課題解決につながる活動を展開しました。

▶ 3. 研究室訪問

今年度は新たに埼玉県内大学との協力関係を築くため、活動を始めました。

早稲田大学の研究室（教員）と企業（特に中小企業）の交流をきっかけとして、研究室訪問を開催しました。

各研究部会の活動

2. 環境・エリアマネジメント研究部会

▶ 1. 研究部会セミナー

今年度は会員への情報提供の一環として、次世代蓄電池やM2M/IoT等のエネルギービジネスの基盤となる最新技術をテーマにしたセミナーを開催しました。

▶ 2. ワーキンググループ

個別ワーキンググループやプロジェクト展開においては、本庄スマートエネルギータウンプロジェクトの成果を具体化するため、早稲田大学が検討を行ったベイシアゲート本庄早稲田でのPPS事業化や秩父でのバイオマスプラント建設が実現しました。

また、地域ICTインフラ提案や、スマートハウスの事業化に進展がありました。

▶ 3. プロジェクト

ソーラークーリング事業、バイオマスエネルギー実証事業、「関東スマコミ連携体」への参加

▶ 4. 視察・見学会

スマートタウン関連の視察では、ミサワホーム熊谷を訪問し先進事例の情報収集を行いました。

各研究部会の活動

3. 食と農研究部会



▶ 1. 研究部会セミナー

今年度は、早稲田大学と連携し、機能性おやつの開発と商品化をテーマにセミナーを開催しました。また、地元の生産者を対象に農業のICT化に関する研修会を実施しました。

▶ 2. ワーキンググループ

農業・工業系学科を併設する地元高校の生徒を主体とする産学官連携プログラムの立ち上げを検討しました。また、早稲田大学と連携し医福食農ワーキンググループを立ち上げ、多分野にまたがる関係者間の情報教諭及び連携を促進しました。

▶ 3. プロジェクト

「梅林堂機能性おやつプロジェクト（仮称）」

地域の農産物を活用した機能性おやつ開発プロジェクトの立ち上げを検討しました。

▶ 4. 視察・見学会

「営農型ソーラー発電見学会」

国内初の農地におけるソーラーVネル回転式の発電システムの見学

展示会への参加

展示会、商談会等へ参加し、当財団のプロジェクトや県内企業の技術力をPR

- ▶ EVEX（EV・PHV普及活用技術展2014）9月17日（水）～19日（金）
- ▶ 第11回埼玉北部地域技術交流会 11月6日（木）
- ▶ 前橋市「産学官金連帯フェスタ」 11月10日（月）
- ▶ HINT新価値創造展2014 11月19日（水）～11月21日（金）
- ▶ 彩の国ビジネスアリーナ2015 1月28日（水）・1月29日（木）
- ▶ 第18回おおた工業フェア2015 2月5日（木）～2月7日（土）
- ▶ 第49回、第50回モノづくり受発注大商談会in大田 2月14日（金）

E V E X (E V ・ P H V 普及活用技術展2014)

9月17日 (水) ~19日 (金)



早稲田大学環境総合研究センターと
(公財) 本庄早稲田国際リサーチパークの合同ブースを設けました。

本庄早稲田オープンイノベーション
ネットワークの関連パネルや会員企業
の展示・紹介ブースを作り、早稲田大
学E Vバスの模型展示など事業の取り
組みやプロジェクトの概要などを紹介
しました。

▶ 第11回埼玉北部地域技術交流会 11月6日（木）

本庄早稲田オープンイノベーションネットワークの紹介と入会案内、I O Cの紹介とレンタルオフィス入居案内、および埼玉県の高電池システム研究開発プロジェクトの紹介を中心にパネル展示、パンフレットの配布などを行いました。

また、先端産業関連セミナーでは「本庄早稲田オープンイノベーションネットワークの概要」について講演を行いました。

▶ 前橋市「産学官金連帯フェスタ」 11月10日（月）

- 1、大学、高専、公設試験研究機関の研究シーズ紹介
- 2、金融機関による講演
- 3、企業による産学連携に対する取組の講演

本庄早稲田国際リサーチパークの専用ブースでは、本庄早稲田オープンイノベーションネットワークのパネル展示、パンフレットの配布などによる取り組みを紹介しました。

H I N T 新価値創造展2014

11月19日（水）～21日（金）



- ▶ 本財団は I O C 入居企業を中心に会員企業とともにパブリックゾーンに出店しました。
- ▶ ブースには 221 名が来場し、49 名と名刺交換を行うことができました。
また、大手企業とのマッチングサイト「ジェグテック」では、日生工業と前野技研工業の 2 社が面談まで進展し、具体的な成果が得られました。

彩の国ビジネスアリーナ2015 産学官連携フェア

1月28日（水）～29日（木）

- ▶ ブースでは関連施設を活用したレンタルオフィスなどのインキュベーション施設や、若手経営者ビジネススクールなど、財団の実施する中小企業支援事業についての紹介を行いました。
- ▶ また、超軽量小型モビリティULV（Ultra Lightweight Vehicle）の実物模型が展示され、多くの来訪者の耳目を集めていました。
- ▶ 財団ブースには単体で2日間およそ100名ほど、隣接する環境総合研究センターブースと合わせると述べおよそ300名ほどの来訪者が訪れ、事業や成果・今後の取組などをアピールすることができました。



第19回高度技術・技能展 おおた工業フェア2015

2月5日（木）～7日（土）

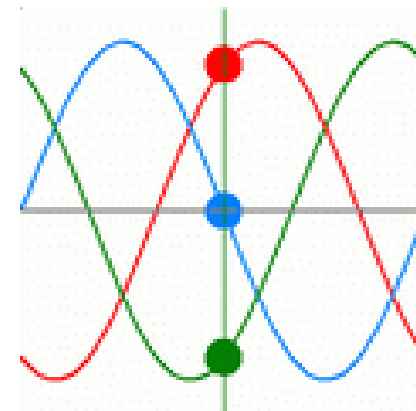


広域連携ゾーン内に設けられた本庄早稲田国際リサーチパークのブースにて、次世代地域・モビリティ研究部会会員企業5社の製品やパンフレット等を展示し、各社の製品や固有の技術を広くアピールしました。

第49回、50回 モノづくり受発注大商談会in大田

2014年10月1日（金）、2015年2月6日（金）

- ▶ モノづくり企業の新規取引先の開拓や情報収集のため、大田区／品川区を中心に全国の製造企業が一堂に会する大規模な商談会。
- ▶ 今回は250社（発注70社、受注180社）の企業が集まり、ビジネスチャンスのさらなる拡充を目指し、活発な商談が行われました。



本庄早稻田塾

～産学官連携のパートナーである地域企業の経営基盤の強化を図る～

企業経営者・管理者研修

「新任管理監督者研修」 6/23.24



講師には、(有)ミッション代表取締役の田中久男先生をお招きし、18社・34名の方々にご参加をいただきました。

研修では、部下の指導や育成、マネジメントとコーチング、リーダーシップやコミュニケーションなどについて、講師が提示した課題を個人研究で学習した後にグループ討議でまとめあげての発表形式で研修が進められ、受講生は熱心に実習されました。

また、色々な業種の方たちにご参加いただき、自社では気がつかないことなど、他社から様々なことが吸収できたことと思います。

本庄早稻田塾

～産学官連携のパートナーである地域企業の経営基盤の強化を図る～



中堅社員・専門研修

「提案営業研修」 7/16

なぜ論理的思考（ロジカルシンキング）が重要なのか、営業ロジカルシンキングでは何をどう考えるのか、など顧客に伝わりやすい提案型営業や営業戦術について学びました。

「5分から始める部下育成研修」 9/10

部下のPDCAサイクルごとに適切なコーチングを実施するスキルを習得すると共に、部下と一緒に考える事や仕事に意欲を持たせるマネジメントのノウハウについて学びました。

「企業会計入門研修」 10/7.8

講師には原義彦税理士事務所の原義彦先生をお招きし、29社・35名の方々に受講をしていただきました。

研修では、仕訳から始まって決算書作成に至るまでの一連の流れ（仕訳→総勘定元帳→試算表→精算表→決算書）について、各ステップでどのように帳票を作成するのかなどを分かりやすい説明と共に演習問題を解きながら学習し、理解を深めました。また、貸借対照表や損益計算書、キャッシュフロー計算書を読み解くことで、会社の経営をより良い方向へ導くことも学習しました。

本庄早稻田塾

～産学官連携のパートナーである地域企業の経営基盤の強化を図る～

「5 S 定着化研修」 12/9

勝ち残りのための改善、5 S 推進の仕組みと導入のポイント、5 S によるコストダウンや品質向上の進め方、マインドの向上による5 Sの定着化などについて、グループワークなどを通して学習しました。また、多くの写真を使った5 Sの実施例を説明を加えながら見せていただき、5 Sとはどのように推進していくのかの理解をさらに深めました。



「幹部候補育成研修」 2/23.24

リーダーとしての課題を「何年か先を見据えた組織課題を革新的試行を行なうことによって実現していく」とし、どのような行動が必要かを様々な題材を用いて、議長役、書記役、発表役を順番に変えてのグループワークが主になりました。講師が提示した題材を個人で演習した後に、グループ討議でまとめあげての発表形式で研修が進められました。



「早稲田若手経営者ビジネススクール」 ～講師陣はメディア等で注目の若手経営者～

第1回 4月16日

中小企業経営論Ⅰ「技術は手に宿る」

開校式、受講生と講師陣による交流会を行いました。

第2回 5月21日

研究テーマ発表

それぞれの研究テーマ（経営課題と解決策）の発表とテーマについてのディスカッションをしました。

第3回 6月18日

「リーダーシップとコミュニケーション」

深中メッキ工業の深田社長の講義。経営スタイルは、情熱と思いやり、ピンチをチャンスにした創意工夫。グループワークありディスカッションありであったという間の3時間の講義でした。



「早稲田若手経営者ビジネススクール」 ～講師陣はメディア等で注目の若手経営者～

第4回 7月16日

「イノベーション経営とは」

「イノベーションのヒントは生業にあり」というテーマで株式会社田代合金所の田邊社長をゲストに迎えてお話を伺いました。市場の縮小による経営危機の状況において、中小企業のイノベーションという視点からお話を頂きました。

授業は極めて論理的で中小企業の視点で進められ、その後のディスカッションも活発に行われました。



第5回 9月17日

「中間発表」

個々の研究テーマについて中間発表とディスカッションを行いました。また、特別ゲスト講師として、アクセントチュアの鈴木さんから、ドキュメントコミュニケーション入門と題して、ロジカルシンキングとドキュメントのテクニックについてお話してもらい、

コンサルお仕事術といった内容でMBAのテイストでした。講義後は大隈タワー「西北の風」で懇親会を行いました。



「早稲田若手経営者ビジネススクール」 ～講師陣はメディア等で注目の若手経営者～

第6回 10月29日

「中小企業の経営と事業戦略」

「下町ボブスレー」実行委員長でもある株式会社マテリアルの細貝社長の講義と工場見学をしました。

経営論・戦略の立案について講義をいただき、密度の濃い内容となりました。



第7回 11月19日

「中小企業の事業継承」



危機的な経営状態に陥った父の会社を継ぎ、短期間で優良企業に再生させた日本電鍍工業株式会社の伊藤社長。リアルな経営体験はこれからの経営者にとってとても価値のある内容の講義でした。

「早稲田若手経営者ビジネススクール」 ～講師陣はメディア等で注目の若手経営者～

第8回 1月28日

「経営戦略」

「町工場の星」ダイヤ精機株式会社
諏訪社長をお招きし、生い立ちから経
営改革等々のお話をお聞きしました。

「企業の活性化はコミュニケーション
から」というポリシーの通り、講義
は終始和やかで有意義なディスカッ
ションとなりました。



第9回 2月18日

「成長戦略」

「江戸っ子1号」仕掛け人、下町の元
気社長、(株)浜野製作所の浜野社長の講
義でした。会社にお邪魔して、講義と
会社見学、懇親会という内容でした。

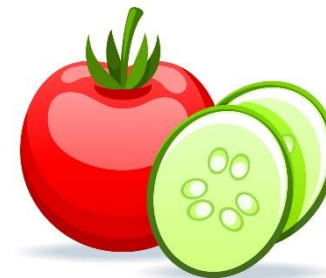
第10回 3月18日

「最終発表会・修了式」

受講生が研究課題を発表の後、修了
証が授与されました。1年間お疲れさ
までした。



食と農のフェスティバル i n 本庄



- ▶ 10月18日（土）、早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターにおいて、地域の食や農について楽しく学べるフェスティバルが開催されました。
- ▶ 会場は前回の倍以上となる約3,000人の来場者で賑わい、会場内には35の企業・団体による飲食コーナーや物販ブースが並びました。
- ▶ 会場奥のステージでは本庄商工会議所青年部により「HONJO JAM SESSION 2014」が開催され、JR本庄早稲田駅のご協力により実現した本物の石炭と蒸気で走るミニSLの乗車や駅長の制服を着た記念撮影には、大勢の家族連れが参加しました。

第4回 IOC本庄早稲田入居者セミナー & 交流会

11月28日（金）

- ▶ 当日は15社/団体・27名の方々に参加していただきました。
- ▶ 1、埼玉県よろず支援拠点 サブコーディネーター 阿部 芳文氏のセミナー。
- ▶ 2、埼玉縣信用金庫 営業統括本部 宮尾 省吾氏による「さいしん創業サポートデスク」の紹介。
- ▶ 3、セミナーと同時進行で別室では、鈴木理晶弁護士による無料相談会を開催いたしました。
- ▶ 最後は、会場を1Fのレストラン馬車道に移しての交流会を行い、講師の方々と個別にお話ししたり、参加者同士で情報交換をしたり、短い時間ではありましたが、有意義な時間が過ごせたことと思います。



「レンタルオフィス」 本庄早稲田ビジネスプラットフォーム会員募集のご案内

～本庄早稲田駅でビジネス拠点をお探しの方へ～



手軽に利用できるレンタルオフィスを運営しています。 **会員数：14社（3月31日現在）**
会費：10,000円税別／月（6か月前払い）
駐車場利用可（1台分）
ぜひご利用ご検討ください。

その他さまざまなサービスがあります。

本庄早稲田ビジネスプラットフォーム担当

tel：0495-24-7455

本庄早稲田の杜 里山塾 2014

本庄市にある“大久保山”という恵まれた自然環境の中、早稲田大学は自然との調和を目指した本庄キャンパスの整備を進めています。ここは市民の散策やジョギングの場所として利用され、“市民の里山”として親しまれています。

当財団では、この里山の中で、動植物の観察や里山の恵みを体験し、長い歴史の中で培われてきた先人の知恵を学ぶ「本庄早稲田の杜 里山塾」を年8回開催し、毎年、多くの方にご参加いただいております。

第8回目を迎えた今年度の里山塾では、大久保山のみならず、他の環境保全地域の視察も行い、様々な視点から環境保全の大切さについて学ぶことができました。

参加者募集

本庄早稲田の杜 里山塾 2014

市民の散策やジョギングの場所として利用され
“市民の里山”として親しまれている、早稲田大学本
庄キャンパス・大久保山には、まとまった雑木林
が残されているため、オオタカをはじめ多くの動植物
が生息しています。
観察や環境保全を行いながら、里山の持つ意
味や時の流れを通じた人と自然の関わりについて体
験しながら学んでみませんか？

◆開催日 月1回、土曜日または日曜日 午前9時から午後0時30分
▶教室にて1時間講義、1時間半散策、教室に戻って30分質疑応答などの振り回りを予定しています。

◆集合場所 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター

◆講師 大堀 勝 先生（早稲田大学造園工学科非常勤講師）ほか

◆参加費 無料（エクスカージョン参加者には、別途1000円程度のバス代を徴収予定です）

◆対象者 どなたでも（親子での参加もOKです）

◆申込方法 電話、FAXまたはメールにてお申込みください。
■Tel 0495-24-7455
■Fax 0495-24-7465
■E-mail wro-info@howarp.or.jp
※FAXの運用は来年度の開始を予定しています。
※お申し込みとあわせての参加費とさせていただきます。

◆服装と持ち物 長袖長ズボン（黒いものは避ける）、帽子、タオル
歩きやすい靴、飲み物など

▼都合によりスケジュールの日程等が変更になる場合があります。予めご了承ください

回	日程	テーマ
1	5月31日（土）	大久保山散策（オオタカ、シジュウカラ観察）
2	6月14日（土）	循環型農業（サツマイモ植え付け）と散策
3	7月19日（土）	エクスカージョン1 『意識の里山』
4	9月20日（土）	エクスカージョン2 『所沢キャンパスにおける人と自然の共生』
5	10月18日（土）	循環型農業（サツマイモ収穫）と散策
6	11月 8日（土）	エクスカージョン3 『利川100年の森』
7	12月21日（日）	里山保全作業（落ち葉かき）
8	1月17日（土）	散策と1年間の活動の振り返り

※エクスカージョンについては、各地の環境保全活動の視察及び体験活動として、新沼地区民衆、100年の森（利川町）、早稲田大学本庄キャンパス周辺を予定しています。

◆問い合わせ先 申し込み先
（公財）本庄早稲田リサーチパーク 担当：地域連携支援部
住 所：〒367-0035 埼玉県本庄市西畑1011
TEL：0495-24-7455 / FAX：0495-24-7465
URL：http://howarp.or.jp/

年間予定



本庄早稲田の杜 里山塾 2014

▶ 第1回 5月31日（土）

大久保山散策（オオタカ、シジュウカラ観察）

大久保山散策を行いました。オオタカの巣や、シジュウカラのタマゴやヒナを見ることができました。身近な山ではありますが、知らないことが多く、実際に歩きながら様々な動植物を見ることができ、たくさんの発見がありました。



▶ 第2回 6月14日（土）

循環型農業（サツマイモ植え付け）と散策

サツマイモの苗の植え付けを行いました。水平植えや船底植えなど、植え方にも色々あり、また、植え方によってイモのでき方に違いが出てくることを学びました。



本庄早稲田の杜 里山塾 2014

▶ 第3回 7月19日（土） エクスカーション（湯沢の里山）

新潟県南魚沼市清水集落を訪問し、里山生物多様性プロジェクト保全地域の見学や、ブナ林の間伐を行いました。見学の際には、都心部では見ることができない日本一小さい八丁トンボや、コオイムシ等見ることができました。また、雨の中の間伐は大変でしたが、作業が終わるころには雨が止んで、作業した箇所にはきれいな日差しが差し込んでいました。



▶ 第4回 9月20日（土） エクスカーション （所沢キャンパスにおける人と自然の共生）

早稲田大学所沢キャンパスを訪問しました。キャンパスは山に囲まれています。その山々を削らないように設計された校舎や、野鳥類が校舎のガラス面に衝突しないような工夫がされており、早稲田大学の自然保護に対する取り組みを学びました。また、大学に隣接する墓地計画地や『となりのトトロ』のモデルとなった森の見学も行いました。



本庄早稲田の杜 里山塾 2 0 1 4

▶ 第5回 10月18日（土）

循環型農業（サツマイモ収穫）と散策

6月に植えたサツマイモの収穫を行いました。雨が多かったためか、出来はあまりよくありませんでしたが、約40キロのサツマイモを収穫することができました。「みんなで育てたイモの味は、おいしかった」等の感想をいただきました。



▶ 第6回 11月15日（土）

エクスカージョン（神川100年の杜）

神川にある100年の森を訪問し、城峯山の散策を行いました。時期が紅葉の最後の方で、きれいに紅葉した木々を見ることができました。普段見慣れた大久保山とは違った山を見学し比較することで、新たな発見がありました。



本庄早稲田の杜 里山塾 2014

▶ 第7回 12月21日（日）

里山保全活動（落ち葉かき）

大久保山で落ち葉かきを行いました。
今回は一般市民にも呼びかけをし、
多数の方々に参加いただきました。
子どもたちも積極的に協力してくれ、
みんなで気持ち良い汗をかくことが
できました。



▶ 第8回 1月17日（土）

散策と1年間の活動の振り返り

1年間の振り返りを行いました。参加者の皆さんに、1年を通して学んだこと、感想等を発表していただきました。

「自分たちの生活は、自然と一緒に共存していることが分かった」、「大久保山以外でも、新潟、所沢、神川などの違う自然環境を見学できて良かった」等の感想をいただきました。



本庄市立藤田小学校 総合的な学習の時間 河川調査

藤田小児童による小山川、元小山川の河川および魚類調査の支援を、延べ5回実施しました。

- ①事前授業：6月4日（水）
- ②第1回河川調査：6月18日（水）
- ③第2回河川調査：10月29日（水）
- ④事後授業：11月25日（水）
- ⑤川のシンポジウム（1年間の活動報告）：
3月21日（土）

協力団体：埼玉県環境科学国際センター
埼玉県本庄県土整備事務所
本庄市役所 環境推進課、企画課
真下建設株式会社
特定非営利活動法人 川・まち・ひと
プロデューサーズ
早稲田大学本庄高等学院SSH河川班
(公財)本庄早稲田国際リサーチパーク



地域の医療と健康を考える会（GHWの会）

当財団では、地域医療や福祉の向上を目的とし、地域住民を対象に健康づくり教室や地域医療に関する講演会を開催しています。2014年度は計6回、延べ約400名の方々に参加いただきました。

▶ 第1回 4月19日（土）

『地域医療で起きていること 私たちがすべきこと』

城西大学経営学部マネジメント総合学科教授の伊関友伸氏をお招きし、高齢者の急増に伴う医療・福祉の資源不足について、また、地域で安心して生活するために必要なことについてお話しいただきました。



▶ 第2回 6月21日（土）

『聴覚障害者が一人で電話をかけられ、119番通報できる社会を目指してー情報通信技術を駆使した電話リレーサービスとNet119ー』

株式会社プラスヴォイス 代表取締役社長の三浦宏之氏、他2名の講師をお招きし、聴覚障害者が一人で電話をかけられるようにする電話リレーサービス、および一人で119番通報が出来るようにするNet119を実演を含めて紹介いただきました。



地域の医療と健康を考える会（GHWの会）

▶ 第3回 7月26日（土）50回記念講演

『ひとりで家で死ねますか？－在宅医療の真髄－』

小笠原内科 院長の小笠原文雄氏をお招きし、在宅緩和ケアの後に、「希望死・満足死・納得死」をむかえられた患者の実例をもとに、在宅医療の実情についてお話しいただきました。

▶ 第4回 9月27日（土）

『埼玉県北部地域の周産期医療について－この地域で安心して子供が産めるように－』

深谷赤十字病院 産婦人科部長で医師の高橋幸男氏をお招きし、埼玉県北部地域における周産期医療の現状や、年齢と妊娠・出産に伴う合併症のリスクを具体的な数値データと共に紹介いただきました。



地域の医療と健康を考える会（GHWの会）

▶ 第5回 11月29日（土）

『脳下垂体のいろいろな働きと病気
－小さな訴えを大きなヒントに変える総合診療－』

岐阜大学大学院医学系研究科 総合病態内科学分野 教授の森田浩之氏をお招きし、下垂体から出るホルモンや、そのホルモンが影響する病気、治療についてお話しいただきました。また、講演会后に、間脳下垂体機能障害の患者・そのご家族向けの医療相談会も開催しました。



▶ 第6回 3月15日（日）

『生き抜くためのセルフケア～老いや病の恐怖から解放されるために知っておくこと！～』

ふじ内科クリニック院長の内藤いづみ氏をお招きし、在宅での看取り（在宅ホスピスケア）に20年以上携わった経験から、ケアされる人、する人がそれぞれ幸せに命の最期に向き合うためのヒントについてお話しいただきました。



本庄早稲田の杜 こどもサマーセミナー

早稲田大学では、子どもたちに物づくりや実験の楽しさを通じて科学に対する興味を持ってもらうために、毎年夏休みを利用して、地域の小学生を対象とした科学実験教室を開催しています。

7月20日（日）の『夏休み親子スーパーサイエンス教室』では、お父さん、お母さんと協力しながらよく飛ぶ紙飛行機を作成したり、磁石の力を利用したおもちゃを作成するなど、全4講座を開催しました。また、8月7日（木）の『本庄ユニラブ2014』では、目の錯覚を利用したトリックアート体験したり、発電機を作ってゲームを楽しむなど全11講座を開催しました。

2日間で約200名の小学生に参加いただき、とても賑やかで活気のある教室となりました。目を輝かせながら科学の不思議を体験する子どもたちの姿がとても印象的でした。



本庄早稲田の杜 冬休み親子スーパーサイエンス教室

12月25日（木）に、早稲田大学本庄高等学院にて親子で参加する科学実験教室を開催しました。小学生低学年は『いろいろなおもちゃを作ろう』、高学年は『ゴムで動く不思議なおもちゃを作ろう』のテーマで開催しました。各教室共に親子で協力しながら、おもちゃ作りを通じて物の仕組みがわかるおもしろさを実感したり、新たな発見をしたりと、『科学』を楽しんでいる様子でした。



小学校での環境学習授業

当財団では、地域の小学校を対象に、環境学習授業支援を行っています。今年度は計6校の小学校で実施しました。

講師としてNPO早稲田環境教育推進機構の方々を招いた際は、自転車発電や風力発電について授業をしていただき、省エネの大切さについて学びました。

また、本庄市役所環境推進課の方に授業をしていただいた際には、身近な川である女堀川の水質を調べたり、生息している魚について教えて頂きました。

省エネや水質汚染について学ぶことで、環境保護への意識を高める良いきっかけとなったようです。



小学校での国際理解学習授業

当財団では、早稲田大学留学生を講師として招き、地域の小学校を対象に国際理解学習支援を行っています。

授業では、留学生に自国の紹介や、自国の子どもたちに人気の遊びを紹介してもらいました。また、給食を一緒に食べたり、休み時間も一緒に遊んだり、授業以外にも児童と過ごし、交流を深めました。

最初は緊張していた小学生も、授業の最後には積極的に質問してくれたり、休み時間には紹介してもらった外国の遊びを楽しんでいました。2014年度は、計7校の小学校で実施しました。



環境問題支援事業 ～ペルー、ベトナム、インド～

企業、行政、地域が直面している環境問題ソリューションを継続的に提供する。

① ペルー今日逢国自動車専用バッテリー再生販売事業

ペルー共和国における自動車バッテリーの再生販売事業の実現可能性を調査・調整・実施を担いました。

② ベトナム技術人材のニーズ調査および活用方法に係るコンサルティング事業

本拠地ベトナムの技術者教育機関のハノイ日本アカデミー・V C I 人材戦略研究所から、企業の要員のニーズ調査や適性人材の選定等のコンサルティング業務を受託しました。

③ インド国内通信インフラ調査に関わるコンサルティング業務

(株)早稲田環境研究所が国内大手通信会社より受託したインフラ調査のうち、現地調査に同行するアジア地域の通信インフラに知見がある研究者の選定に関する助言並びに、周辺アジア地域での情報提供について再受託しました。



健康アグリツーリズム

～第1回もぎ豆腐店で豆腐とがんも作り体験～ 6/14



- ▶ 当日はきれいに晴れ上がった初夏の陽光の中、30名の方々にご参加いただき、楽しい一日となりました。
- ▶ 農作業の後は国産の材料を使った手作りにこだわり、「三之助（みのすけ）豆腐」で有名な「もぎ豆腐店(株)」の職人さんたちの指導による“寄せ豆腐作り”にチャレンジしたり、「もぎ豆腐店」工場にてがんも作り体験もしました。
- ▶ 最後は地元本庄のレストラン「マジエント」にて一流ホテルの料理長を勤めたオーナーシェフによるこだわりの古代豚をつかったメニューを堪能しました。

健康アグリツーリズム

～第2回自然酵母の味輝パンとベーコン作り体験～10/25

県中央部を中心に25名の方が参加しました。国産大豆にこだわった「豆物語」ツアー、叩き棒を用いた昔ながらの脱穀と篩がけにより大豆が収穫できました。また、昔ながらの足踏み脱穀機を使った古代米の脱穀も体験しました。



メインは自然酵母の味輝パン工場でのベーコン作り体験。仕込み体験と燻蒸を体験し、ご家庭でも燻製作りが楽しめるように完成したベーコンとともに仕込んだベーコンとマニュアルをお持ち帰りいただきました。お昼は味輝の窯焼きピザランチでした。

健康アグリツーリズム

～第3回味噌作りと醤油搾り体験～ 12/20

- ▶ 県中央部を中心に25名の方が参加しました。
- ▶ 国産有機栽培の原材料と、受け継がれてきた伝統の杉桶を使用し、天然醸造法による味噌と醤油を100年以上造り続けてきたヤマキ醸造（埼玉県児玉郡神川町）で、味噌作りと醤油搾りに挑戦。もちろん仕込んだ味噌と醤油は、もろみとともにお持ち帰りいただきました。
- ▶ お昼は紫水庵で、つくりたての豆腐・湯葉と旬の野菜をもちいた会席コース。参加者の皆様からは大変美味しかったとのお声をいただきました。

